

11、20 支援集会



再審の扉をあけて、之を罪をなくそうとの支援集会参加の皆さん  
名張事件の再審無罪のためにご支援下さる皆さんに心よりお礼申し上げます  
私は無実之を罪で苦しんでいます。毎日、ドウ酒をいりといと 同行で運んた  
たが犯行したと作られた、三人で行ったので犯行する時間があった。これだと犯行する時  
なかつたと言われ坂本と二人で行ったのだと強要して作られたのです。以後この  
無いゆえに調べに度々ヒンした。すると調官が上司の丁 警部をよんで来て私が座る  
後にまっかたを手で、もんだり、打ったり、わすたりして又ムチで机を打つたりして大  
早く自白しろとあどした。怖く神経質になつてしまつて、強要に負けて  
ウソの自白をしまつた。又調官がああだ、こうだ、ゆうどう尋問にげいごうしたり  
創作した自白した。一人でどうする事もできず自白してもやつてなければ  
後できつとわかつてもうさると信じていました。が度々不安になりヒンを  
したが調書を作りなかつた。どうする事もできませんでした  
皆さんこれか、もご支援の思いをお力を貸して下さい。願ひします

十一月二〇日

奥西勝